

令和 4 年度 第 31 回全国女性建築士連絡協議会（東京） プログラム（案）

「未来へつなぐ居住環境づくり」

～ これからの快適で健康な住まい ～

令和 4 年 7 月 17 日（日）

全国女性委員長（部会長）会議

11：00～12：30

於：日本建築学会建築会館ホール又はビジョンセンター田町
/ZOOM

令和 4 年度 第 31 回全国女性建築士連絡協議会（東京）

[受 付] 12：45～13：30 於：日本建築学会建築会館ホワイエ/ZOOM

[開会式] 13：30～13：50 於：日本建築学会建築会館ホール/ZOOM

- ・開会の辞
- ・主催挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会会長
- ・委員会担当副会長挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会副会長
- ・委員長挨拶、運営説明 公益社団法人 日本建築士会連合会女性委員長

= 休憩（換気）13：50～14：00 =

[活動報告] 14：00～14：45（45分）（各 15×3）

- ・愛知建築士会（15分）
- ・奈良県建築士会（15分）
- ・大阪府建築士会（15分）

= 休憩（換気）14：45～15：00 =

[被災地報告] 15：00～15：15（15分）（各 15×1）

- ・岩手県建築士会（15分）

= 休憩（換気）15：15～15：30 =

[基調講演] 15：30～17：15（90分+換気 15分）

「これからの快適で健康な住まい」 45分

- ・講 師 早稲田大学教授 田辺 新一（たなべ しんいち）氏

= 休憩（換気）16：15～16：30 =

〈質疑応答〉45分

= 休憩（換気）17：15～17：30 =

[交流会] 17：30～18：30（60分） 於：日本建築学会建築会館 ホール

- ・ワンバイワン 17：30～18：00 （福島県・新潟県・富山県・京都府・香川県）
- ・交流会 18：00～18：30

令和 4 年 7 月 18 日（月祝）

[分科会] 9:00～11:00（120分） 於：日本建築学会建築会館 3号館 3・4階
（LIVE 配信予定） ビジョンセンター田町／ZOOM

- ・ A分科会「オンラインセミナー役立つ運営ノウハウ伝授します！」
司会者：齊藤 裕美（北海道建築士会）
コメンター：村越のぞみ（福島県建築士会）
コメンター：東 英輝（岩手県建築士会）
- ・ B分科会「空き家対策の活動」／民泊×観光地の取り組み
司会者：鈴木 深雪（福島県建築士会）
コメンター：酒井美代子（福島県建築士会）
- ・ C分科会「福祉のまちづくり」
司会者：櫻井 澄子（栃木県建築士会）
コメンター：田野 恵（千葉県建築士会）
- ・ D分科会「たてもものを使い繋ぐために」
司会者：大森 尚子（三重県建築士会）
コメンター：本岡美由希（福井県建築士会）
コメンター：乾 陽子（福井県建築士会）
- ・ E分科会「景観まちづくりと建築士・京都景観フォーラムでの活動」
司会者：市川 真理（滋賀県建築士会）
コメンター：内藤 郁子（京都府建築士会）
- ・ F分科会「愛媛の古建築を訪ねての本ができるまで」
司会者：大塚美由紀（愛媛県建築士会）
コメンター：文化財・まちづくり委員会
（愛媛県建築士会）
- ・ G分科会「古きものを活かす」
司会者：竹崎由美子（宮崎県建築士会）
コメンター：内田 恭代（宮崎県建築士会）


= 全体会会場へ移動 11:00～11:15 =

[全体会] 11:15～12:00（45分） 於：日本建築学会建築会館ホール／ZOOM

- ・ 分科会報告（3分×7分科会） 各分科会司会者
- ・ 全体総評（3分） 連合会女性副委員長
- ・ 令和4年度第31回全国女性建築士連絡協議会アピール（3分） 連合会女性委員長
- ・ 第64回全国大会秋田大会参加のご案内（5分） 秋田県建築士会女性委員長
- ・ 令和5年度第32回全国女性建築士連絡協議会（石川）参加のご案内（3分） 石川県建築士会女性委員長
- ・ 閉会の辞

令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）分科会概要一覧

分科会名称	コメンテーター	概要
A分科会 「オンラインセミナー 役立つ運営ノウハウ 伝授します！」	村越のぞみ (福島県建築士会) 東 英輝 (岩手県建築士会)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年の全建女はオンラインで開催されました。他県の建築士会のセミナーや大会を自宅にいながら手軽に聞けるのは、働きながら育児や家事、介護を両立させている私達には本当に素晴らしいツールです。そろそろ、自分が所属する士会でもオンラインでセミナーや大会を開催したい、でも何から始めればいいのか？やり始めたけどもっと便利な機能が知りたい！運営側の負担を減らしたい！そんな不安や悩みを今回は、過去に様々なオンラインイベントを開催されてきた 達人に運営ノウハウを伝授して頂き、皆さまの今後の活動にお役立て頂ければと思います。</p> <p>質疑を先に受け付けますので、こちらのアドレスまでメールをお願いいたします。 tomidokoro@hkcorp.jp</p>
B分科会 「空き家対策の活動」 ／民泊×観光地 の取り組み	酒井美代子 (福島県建築士会)	<p>私が住んでいる裏磐梯は、オールシーズン観光客が訪れる福島県を代表する観光地です。両親が亡くなって空き家になり持ち家と合わせて3軒。その利活用ができないかと考えていた所、2018年6月に民泊新法が施工されました。それまでグレー部分が多かった民泊が申請から運営まで大きく変わったのをきっかけに検討を重ね、民泊事業をはじめの事になりました。「民泊セカンドハウス」オープンは2019年11月2日(土)。新型コロナの影響を受けながらも、今では、予約が取りにくい宿にまで成長した取り組みを紹介します。</p> <p>また全国に広がる空き家の活用等について、参加の皆さんと意見交換を行いたいと思います。</p>
C分科会 「福祉のまちづくり」	田野 恵 (千葉県建築士会)	<p>「超高齢化社会」となり、社会構造や体制が大きな分岐点を迎える2025年も間近。高齢者が自立生活の支援のもとで可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい生活を人生の最期まで続けるために、医療・介護・予防・福祉・住まいの5つの要素で支えるシステムが推進されている昨今。住まいの専門家の建築士の関わりは少ない。そこで3年前より「福祉まちづくり小委員会」と称し、「建築士のための介護基礎講座」を開催。医療・介護・予防・福祉それぞれの職務や専門用語を理解し、対等に議論できる状況を作りたいと考えています。</p>

<p>D分科会 「たてものを使い繋ぐために」</p>	<p>本岡美由希 乾陽子 (福井県建築士会)</p>	<p>文化財的評価や最初の用途に拘わらず、改修・補修・補強を適切に施すことで、たてものの寿命を延ばし、使いながら次世代へ繋げることが出来たら・・・そんな想いを抱いて仕事をしている方も多いはず。耐震・温熱等を改善し快適に住み続けられる住まいとした事例や、空き家を改修して店舗等とした事例を、住宅医・ヘリテージマネージャーの各視点からご紹介します。更にヘリテージ協議会による「残す」と「使う」を繋ぐサイト構築や情報発信から、身近な建物への気づきの広がり期待する想いもお話します。皆さまの情報共有に繋がりますよう。</p>
<p>E分科会 「景観まちづくりと建築士・京都景観フォーラムでの活動」</p>	<p>内藤 郁子 (京都府建築士会)</p>	<p>京都市で2007年に「新景観政策」が施行された翌年、京都市が設置した「未来まちづくり100人委員会」から「NPO京都景観フォーラム」を立ち上げました。「市民が自主的に景観まちづくりを進めることができる社会の実現を目指し、」「景観まちづくりに関する専門家を育成し、」「そのネットワークで地域をサポートする。」ということをミッションに掲げ、「京都景観エリマネジメント講座」を実施し、さまざまな地域のお手伝いをしてきました。そもそも、私たち建築士はまちを創っていますが、まちを壊しているのも建築士ではないか？という自省が私の出発点です。景観をまちの共有資産として捉えることが、街並みの形成とともに、コミュニティの構築にも繋がるのではないかと考えていますが、建築士としての役割について皆さんと考えたいと思います。</p> <p>京都市景観整備機構 NPO 京都景観フォーラム https://kyotokeikan.org/</p>
<p>F分科会 「愛媛の古建築を訪ねての本ができるまで」</p>	<p>文化財・まちづくり委員会 (愛媛県建築士会)</p>	<p>(公社)愛媛県建築士会「文化財・まちづくり委員会」による、33年間にわたる古建築調査の記録を集めた本が2018年に出版されました。なかでも未指定文化財に関しては、現在では貴重な記録も多く、当初から古建築に対する意識の高さをうかがい知ることができます。愛媛県には大学に建築系の学部もなく、行政からの特別なバックアップもない環境で、なぜそのような調査を行うことができたのでしょうか。文化財に対する建築士会の歴史、それが本になるまでのプロジェクト……。調査時のドラマや発見も交えて楽しくお伝えできればと思います。本の紹介ページ [書籍販売] 「愛媛の古建築を訪ねて」 好評販売中 (ehime-shikai.com)</p> 

<p>G分科会 「古きものを活かす」</p>	<p>内田 恭代 (宮崎県建築士会)</p>	<p>平成29年度(東京大会)の分科会にて「環境共生住宅」と題し、^{ああむじょう}嗚呼六帖プロジェクト(伝統工法を支える家づくり)を報告いただいた内田さんの第二弾! 今回お届けするのは、コンバージョンのお話です。</p> <p>市街地のはずれに位置する木造二階建ての住宅。築60年を迎えるその住宅は空き家となり、興味のない方からすれば取り壊されるものと思われたことでしょう。しかし、内田さんの手によりライダーハウスへと変貌を遂げました。随所に込められた「古きものを活かす」知恵をご紹介します。古き良きものが持つ可能性について学びを深めたいと思います。</p>
----------------------------	----------------------------	--

都道府県建築士会会長様
都道府県建築士会女性委員長（部会長）様

（公社）日本建築士会連合会
女性委員長 本間 恵美

令和 4 年度 第 31 回全国女性建築士連絡協議会（東京）の開催について

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本会の各種事業につき格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記会議を下記により開催いたしますので、貴建築士会の女性委員長（部会長）および女性会員にご周知下さいますようお願い申し上げます。

令和 2 年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの事業において対面での開催が難しい状況が続いておりますが、本年は、下記の日程により人数制限を設けた東京の会場での参加と WEB 配信によるオンライン参加の形式で開催する運びといたしました。

つきましては、ご参加いただく方の氏名等を参加申込書（資料 4）にご記入の上、**6 月 10 日（金）**までにお申し込みをお願いします。（E-mail:jigyol@kenchikushikai.or.jp）

なお、同文書の写しを各女性委員長（部会長）にも直送させていただきますので、その旨ご了承願います。敬具

記

1. 開催日時及び開催場所

令和 4 年 7 月 17 日（日） [CPD3]

- ・全国女性委員長（部会長）会議 11：00～12：30
於：日本建築学会建築会館ホール又はビジョンセンター田町（会場案内図参照）
／ZOOM
※今回は東京会場にてご出席の方への昼食をご用意いたしません。

—令和 4 年度 第 31 回全国女性建築士連絡協議会（東京）—

- ・受付 12：45～13：30
- ・開会式 13：30～13：50
- ・活動報告 14：00～14：45
- ・被災地報告 15：00～15：15
- 休憩 15：15～15：30
- ・基調講演、質疑応答 15：30～17：15
於：日本建築学会建築会館ホール（会場案内図参照）
／ZOOM
- ・交流会 17：30～18：30
於：日本建築学会建築会館ホール

令和 4 年 7 月 18 日（月祝） [CPD2]

- ・分科会 9：00～11：00
於：日本建築学会会議室、ビジョンセンター田町（会場案内図参照）
／ZOOM
- ・全体会 11：15～12：00
於：日本建築学会建築会館ホール（会場案内図参照）
／ZOOM

2. 開催主旨

令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会では、令和2年より広がり始めた新型コロナウイルス感染症が、収束の兆しを見せない中で、外出自粛、リモートワークやオンライン授業など、自宅で過ごすことが多くなったことから、これからも続くと思われるウィズコロナ時代の住まいとは何かを学ぶことが必要であると考え、テーマを『未来へつなぐ居住環境づくり』～これからの快適で健康な住まい～といたしました。

基調講演では、早稲田大学教授 田辺新一氏より「これからの快適で健康な住まい」をテーマにご講演頂いた後、全国の建築士から事前に募集した質問に対して、お答えいただきます。また、地域の建築士会活動報告や被災地報告も予定しております。

3. 基調講演について

基調講演テーマ「これからの快適で健康な住まい」\$

- ・ウィズコロナ時代の住まいと換気のあり方・住まいの省エネと快適・脱炭素時代の住まい
- ・住環境と睡眠 よく眠れる家・これからの健康な住まい

田辺 新一氏（早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授）プロフィール

1982年早稲田大学理工学部建築学科卒業

1984年同大学大学院博士前期課程修了。工学博士

2001年早稲田大学理工学部建築学科教授を経て、改編により

2007年から早稲田大学理工学術院創造理工学部建築学科教授

現在、早稲田大学スマート社会技術総合研究機構住宅・建築環境研究所・所長、

日本建築学会会長、日本学術会議会員

WHOにCOVID-19の空気感染の可能性に関する公開書簡を提出した36名の科学者の一人

下記URLよりGoogleフォームにて質問を募集いたします

(6月10日締切)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeKBS6h3UNUtP93cDVLwkuCLHtCiZe7jPJLSJchJxhcPcAaA/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>



4. 分科会について

7つの分科会を予定しております。それぞれの分科会にて討議し、全体会にて発表を行っていただく流れとなります。分科会には定員がありますので、申し込みが集中した場合、ご希望に添えない場合があります。申し込みの際に**希望コースを必ず第2希望まで**お書きください。

分科会の概要については、資料2を参照してください。

各分科会は、後日、連合会女性委員会のホームページ上で動画配信を予定しています。ご参加の叶わなかった分科会はそちらをご利用ください。

5. 参加費用等について

全建女参加費（資料代含む）	建築士会会員	オンライン	1000円
		会場参加	2000円
	会員外	オンライン	2000円
		会場参加	3000円
学 生	会場・オンライン	無 料	
交流会参加費			無 料

開催当日、オンライン接続の状況により受信ができなかった場合も、参加費用の払い戻しはございません。後日、動画配信を予定しておりますのでそちらをご利用ください。

6. 費用負担について

女性委員長（部会長）1名分の旅費は本会規定の半額を負担させていただきます。
お振込みさせていただきますので、参加申し込みの際に旅費振込先届に記載の上ご返送お願いいたします。但し、旅費の支給は、東京会場にご出席の場合に限ります。

※ 直前に東京会場での参加が中止になった場合の移動、宿泊に伴うキャンセル料につきましては、各自にてご負担いただきますようお願いいたします。

7. 参加申込について

貴会において参加希望者を取りまとめていただき、資料4の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、6月10日（金）までに連合会事務局にお申し込みください。

※ 変更・取消等のご連絡は、6月24日までに直接、日本建築士会連合会にご連絡ください。
なお、令和4年6月24日（金）以降の変更・取消に伴う参加費の返還には、応じられませんので、ご了承ください。

8. 宿泊予約について

宿泊予約につきましては、参加者各自にてご準備下さいますようお願い致します。

※ 直前に東京会場での参加が中止になった場合の移動、宿泊に伴うキャンセル料につきましては、各自にてご負担いただきますようお願いいたします。

9. オンライン参加のURL送付について

オンライン参加の方へのURL送付は、7月12日（火）を予定しています。

10. 交流会について

7月17日（日）の全体会終了後、交流会を開催いたします。

参加をご希望の方は参加申込書の交流会参加希望欄に記載をお願いいたします。

※交流会にてワンパイワンを行います。各ブロックから1県程度の活動紹介、近況報告、最近の気になる話題などを報告して頂く予定ですので、是非ご協力をよろしくお願い申し上げます。

11. CPD単位の付与について

オンライン参加の方へのCPDの付与については、参加後のアンケートにご回答いただく事により付与させていただきます。

12. 添付書類

- 資料1 令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）プログラム
- 資料2 令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）分科会概要一覧
- 資料3 令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）開催会場案内図
- 資料4 令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）参加申込書
- 資料5 令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）における
全国女性委員長（部会長）会議について（ご依頼）
- 資料6 女性委員長（部会長）旅費振込先届
- 資料7 女性委員会（部会）活動報告要旨について（要旨集綴じ込み用）

以上

令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会（東京）

開催会場案内図

7月17日（日）

- ・全国女性委員長（部会長）会議 11:00～12:30 ①日本建築学会（建築会館ホール）又は
②ビジョンセンター田町
- ・令和4年度 第31回全国女性建築士連絡協議会 13:30～17:15 ①日本建築学会（建築会館ホール）
- ・交流会 17:30～18:30 ①日本建築学会（建築会館ホール）

7月18日（月祝）

- ・分科会 9:00～11:00 ①日本建築学会（建築会館）②ビジョンセンター田町
- A分科会 会場未定 E分科会 会場未定
- B分科会 会場未定 F分科会 会場未定
- C分科会 会場未定 G分科会 会場未定
- D分科会 会場未定
- ・全体会 11:15～12:00 ①日本建築学会（建築会館ホール）

※ 分科会会場については、各分科会の参加者数が確定後に発表いたします。



《最寄り駅》JR 田町駅、都営三田線・浅草線三田駅

- JR 田町駅より徒歩 3分
- 都営三田線・浅草線三田駅より徒歩 3分